

週間漁海況情報 2024年第43号

令和6年10月22日発行

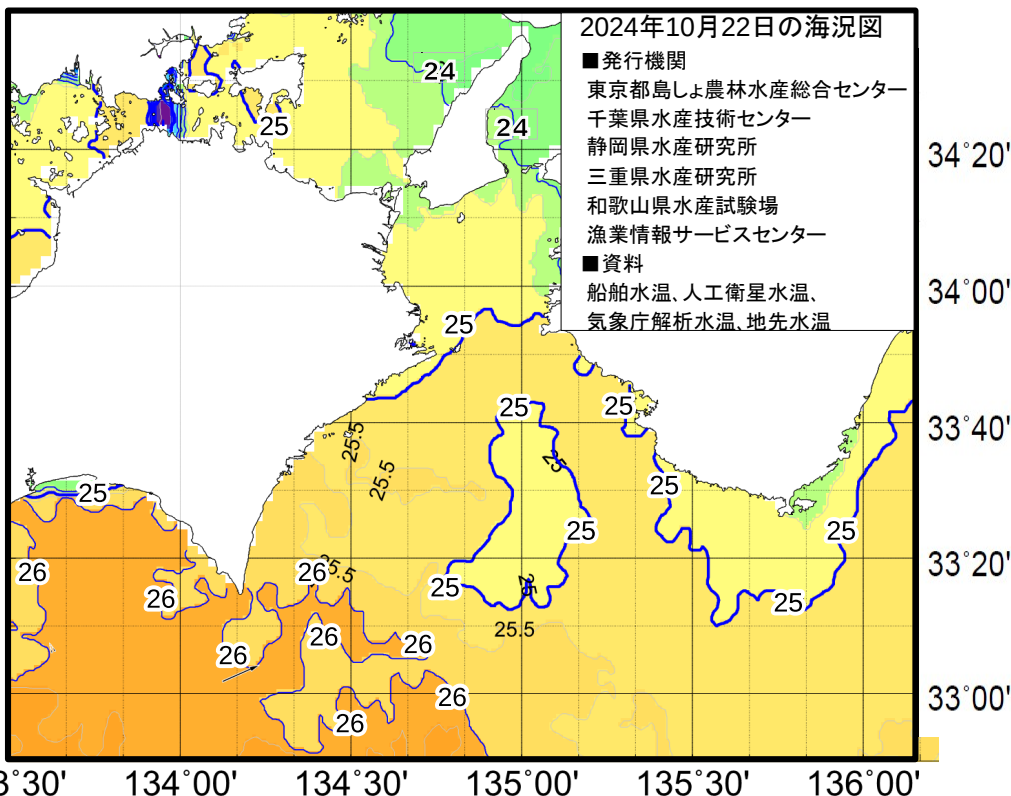
海況

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖50マイル付近、潮岬沖115マイル付近を流れ、室戸岬で「離岸」、潮岬で「著しく離岸」している。先週と比べて、室戸岬では約25マイル、潮岬では約5マイル接岸した。

黒潮の表面水温は26～27℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で24、紀伊水道、海部沿岸で24～25℃台となっている。

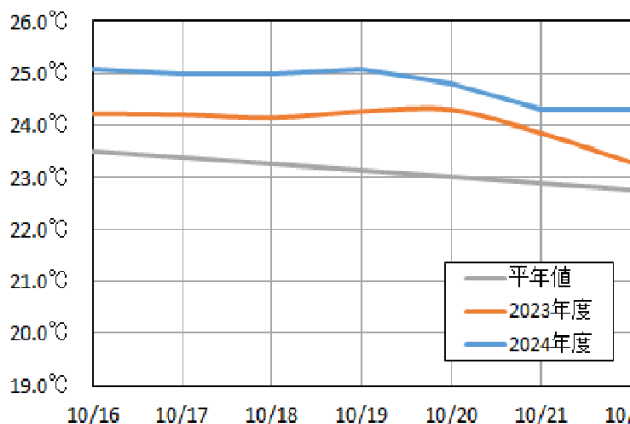


※黒潮の離接岸の表現 (いずれも正南方向)
 室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～
 潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～
 ※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。
 直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

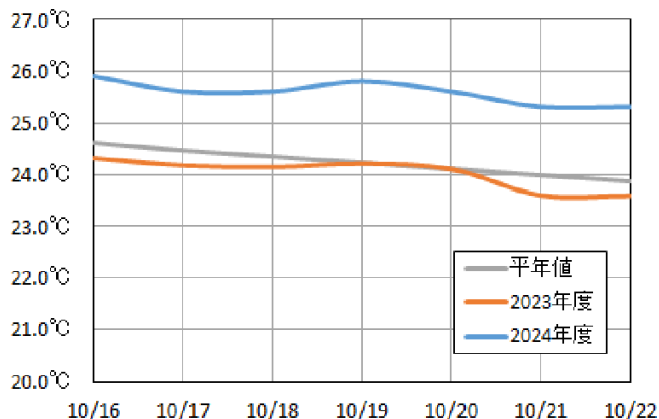
2. 地先水温(10月16日～10月22日)

鳴門地区の水温は、24.3～25.1℃で「やや高め」から「高め」、浅川地区は、25.3～25.9℃で「やや高め」から「高め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は0.6～1.0℃で、先週と比べてほぼ同じ。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(10月23日～10月29日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「離岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区、浅川地区とも「やや高め」で推移する見込み。

漁況 (10月14日～10月20日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：4)

船びき網では、シラスが大きく増えて17.6ト水揚げされた。
 延縄では、サワラが大きく増えて2.5ト、あまだい類が増えて1.4ト水揚げされた。
 底びき網では、イボダイが減って2.4ト、えそ類が増えて1.2ト、かます類が増えて1.2ト、
 ハモが大きく増えて中主体に1.2ト、いとより類が小主体に0.7ト、クマエビが増えて0.6ト、
 タチウオが大きく増えて0.2ト水揚げされた。
 建網では、カワハギが減って大主体に0.8ト水揚げされた。
 小型定置網では、ブリが大きく増えてつばす級主体に3ト、マアジが大きく増えて小主体に1.5ト、
 マルアジが小主体に0.7ト、カンパチが増えて0.6ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

釣りでは、カツオが大きく増えて特大主体に25ト、キハダが増えて2.5ト、
 ビンナガが大きく増えて0.5ト、シイラが0.3ト水揚げされた。
 延縄では、あまだい類が増えて0.6ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	72	シラス	17,630	245		↗↗
	延縄	19	サワラ	2,514	132		↗↗
		68	あまだい類	1,433	21		↗
	底びき網	26	イボダイ	2,352	90		↘
		24	えそ類	1,205	50		↗
		27	かます類	1,201	44		↗
		27	ハモ	1,163	43	中主体	↗↗
		27	いとより類	713	26	小主体	→
		27	クマエビ	641	24		↗
		26	タチウオ	235	9		↗↗
	建網	83	カワハギ	764	9	大主体	↘
	小型定置網	19	ブリ	2,990	157	つばす級主体	↗↗
		19	マアジ	1,532	81	小主体	↗↗
		15	マルアジ	670	45	小主体	→
19		カンパチ	559	29		↗	
海部沿岸	釣り	17	カツオ	24,989	1,470	特大主体	↗↗
		33	キハダ	2,495	76		↗
		13	ビンナガ	464	36		↗↗
		13	シイラ	254	20		→
	延縄	12	あまだい類	556	46		↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘